

2013年(H25年)

10月

No. 269

ひとはろしん

(ホームページアドレス) <http://www2.ocn.ne.jp/~hitoha/>
(メールアドレス) hitoha@lime.ocn.ne.jp



社会福祉法人 ひとは福社会

〒739-1203

広島県安芸高田市向原町長田1857番地

TEL (0826) 46-2960 FAX (0826) 46-7230

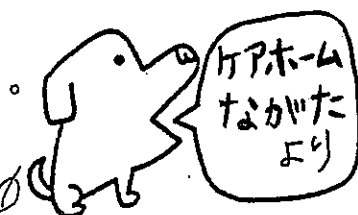
猛暑・洪水・屋根れ・竜巻・特別警報・汚染水流出... 今年の夏は、鬼気迫る言葉が絶えずテレビから流れてきました。自然と共存する私たちに、決して悔れない他人事ではない情報ばかりです。や、と秋を感じる日本晴れの空を見上げながら、こんな日が続いてくれることを祈るばかりです。みなさんいかがお過ごしですか？

「あぶ」の近隣にある「老人ホーム甲田」がボランティアを募集されており、あぶにも案内がきました。早速、あぶの仲間たちも自分にできることがあるのではと、ボランティア体験に行ってきました。いつもあぶの商品を販売に行かせていただいていますし、この地域の行事で頑張らじみという事もあつて、みなさん気軽に笑顔で迎えてくださいます。

絵を描くのが得意なTさんは、入所されている方一人一人の似顔絵を描き始めました。少し照れ気味のTさん、「かわいく描いてね」「上手じゃね」の言葉にエンジンがかかり、ほぼ全員の似顔絵を描き、最後には7~8人のおばあちゃん達に囲まれて、人気者になっていました。普段は、現実離れした話で私達を煙に巻くMさんですが、一人のおばあちゃんと一時間近く会話が済み、糸巻やかな年後の時間を過ごしています。「若くて、かわいいね」と言われたTさんは、少し照れ気味でニコニコしながら、歌を歌ったり話をしたり... あ、という間に一時間半が過ぎました。

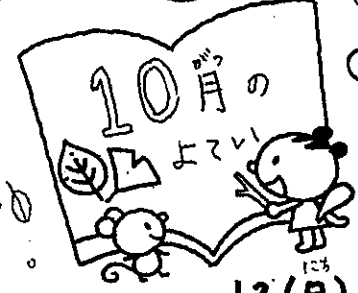
4人で歩いて帰りながら、何とも言えないほのぼのとした気持ちになりました。あぶの仲間達の気取らずに自然体でお年寄りと接する姿は、とても頼もしく、また彼らの満足した表情がとても印象的でした。このような日常的な関係をたくさんつくり、この道にお付き合い合えればと思います。

(就労センターあぶ 伊藤 千代子)

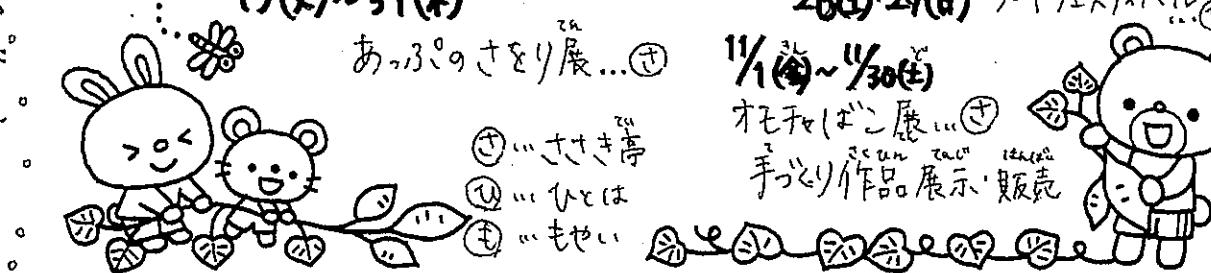


ケアホームなかがたの的場邸には男性4名が一系者に生活され、支援員と世話人が日替わりで夕食作りなどを手伝っています。平日は仕事に行かれ、休みの日はそれぞれ自由に過ごしているので、日中はとても静かな的場邸です。しかしリビングに人が集まればワイワイガヤガヤ。雑談が大好きな方ばかりなので、夕方ほと見辰やかです。一緒に生活することで色々楽しいこともあるようですが、みなさん助け合って暮らされています。時間があつたらケアホームに寄って頂いて、ぜひ住居人のみなさんと楽しい時間を過ごしてみてください。

(ケアホームなかがた 高木 亮輔)



- 11(金) パソコン教室...④
- 12(土) 要約筆記講座...④
- 13(日) 甲田わいわいまつり...④
- 14(月祝) 文教祭...④
- 15(火)~31(木) あぶのさ祭り展...④
- 20(日) セアサロン...④
- 23(水) トールペイント教室...④
ハロウィンをモチーフに
参加費 ¥500
- 26(土) スマイルあぶふれあいフェア...④
- 26(土)~27(日) フードフェスティバル...④
- 11/1(金)~11/30(土) オモチャ展...④
手づくり作品展示販売





さをり班の日記

毎週木曜日は、吉田口駅の掃除に出かけています。

今年の夏の暑さは格別で、汗を動かしても汗タラダク。そこでWさん

考えだしたのが「水まき作戦」。駅舎の中にホースで水をまき、裸足に

なってピチャピチャ！「気持ちがいいよ〜」それに系統けとNさんSさんもピチャ

ピチャゴシゴシ。子育て中のツバメのフンも何のその。おかげでデッキブラシ

と水切りの使い方がとても上手になりました。でも、裸足はまずいという

話に何と次の週はゴムの輪かけ持参。渠は鳥の発想と行動力は

素晴らしい。後日、地域の方から思わぬお礼をいただきました。喜んで

いたしていただけた事、わずかでもお役に立てていた事が嬉しく、励みになりました。

(あふ、兼近 洋子)

半年前になろうかと思えます。キョウさんの交流会が広島市内

で開催され、ひとはのみんなと一糸者に参加しました。ある競技で

列を組んで待っているときに「むむ!? どこかで見たとある人」と、他の

施設の利用者さんを見て思いました。10数年前、ひとはを利用されていた

Kさんだったのです。声をかけると、ちゃんと覚えてくれていて、心の間でした

が、話をする事ができました。

また、この5月に向原の農村交流館で、これまた10数年前に

ひとはを利用されていた、突顔の素敵なNさんと再会。「だ〜れだよ?」

と聞くと「ますださん」と返ってきて、元気そうな姿を見られて良かった

です。2人との出会いから、タイムスリップして昔の思い出に浸っていた自分が

いました。Kさん、Nさん、これからも元気でね。

(ひとは作業所 益田博志)

ひとはのQ&A



夏休み!!

今年もとても暑い夏でしたが、子どもたちは元気いっぱい宿題・活字・遊びと全力で毎日過ごしました。

今年、「そらめくんのベッド」のお話をもとに、牛乳パックの家作りを行いました。ひとは館にも協力してもらい、な・な・はんこ486個もの牛乳

パックを使いました。牛乳パックひとつひとつをテープでつなぎ、大きなパーツを組み

立て、みんなで協力して作り上げました。ちょっとのことでは!? びくともいけない大きな家が

完成しました。決して入場料は頂きませんので、子どもたちの力作を見に来てくだ

さい。保護者のみなさん、ボランティアのみなさん、その他多くの方々のご協力とご支援

により、今年度の夏休みも充実したものとさせていただきます。ありがとうございます。

(ひとばこ 高松悦子)

〜食べ物と仲間のエピソード〜

Sさんは、あせつのいちじくを食べてながら「わしの家にもあったんだよ

うまかつ」と教えてくれました。

Tさんは、頂いた柿の入った袋を見て「しゅん(弟)がねー、柿きらい

だよ」と教えてくれました。

Mさんは、「里芋菜、食べるとかわいらしい」といって、昼食を完食します。

Jさんは、昼食後いつもお腹をたたくに「お腹いっぱい、おいしかった」と

教えてくれます。食べものは、元気の源だよーと思います。

食欲の秋ですね。仲間がどんな食べもののエピソードを教えてくれるのか、次はMさんがどんな野菜を好きになるのか楽しみです。

第25回
人間ホール
日時：平成25年11月30日(土)
場所：向原生涯学習センター 10時~15時
テーマ：つながり
お楽しみに!!

ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ

